

第14回 理科サロン

ものを見ることと脳の働き方



大阪大学医学系研究科教授

佐藤 宏道先生

私たちは地球上で暮らし、視覚によって環境の情報を得ています。脳が表現している環境は、物理的な光の分布そのものを忠実に反映しているわけではなく、あくまで地球上で暮らすのに都合のいいような解釈を与えて、脳の処理の効率化と合目的性を実現しています。例えば私たちが見ている光は波長が約400nmから700nmほどの極めて狭い範囲の電磁波ですが、色は電磁波に備わっている属性ではなく、脳が特定の波長に「赤」、「緑」、「青」など色のカテゴリーを当てはめているわけです。錯視図などを見ながら脳の働き方について考えてみましょう。

*最近、脳科学は急速に発展しています。その原動力の一つは、「視覚」と「脳による認識」との関係が科学的に理解されてきたことです。佐藤先生はその最先端を走っておられます。

日時：5月18日（金）

午後6時～8時 講演会

午後6時半までは佐藤先生
を囲んで夕食（*）

場所：けやきの会事務所

豊中市千里園2-1-37

（電話 06-6857-2562）

参加費：無料

* 夕食は各人で買ってご持参下さい。
飲み物は用意しています。また、
時間ぎりぎりになられる方のために
軽食を用意しています。

